

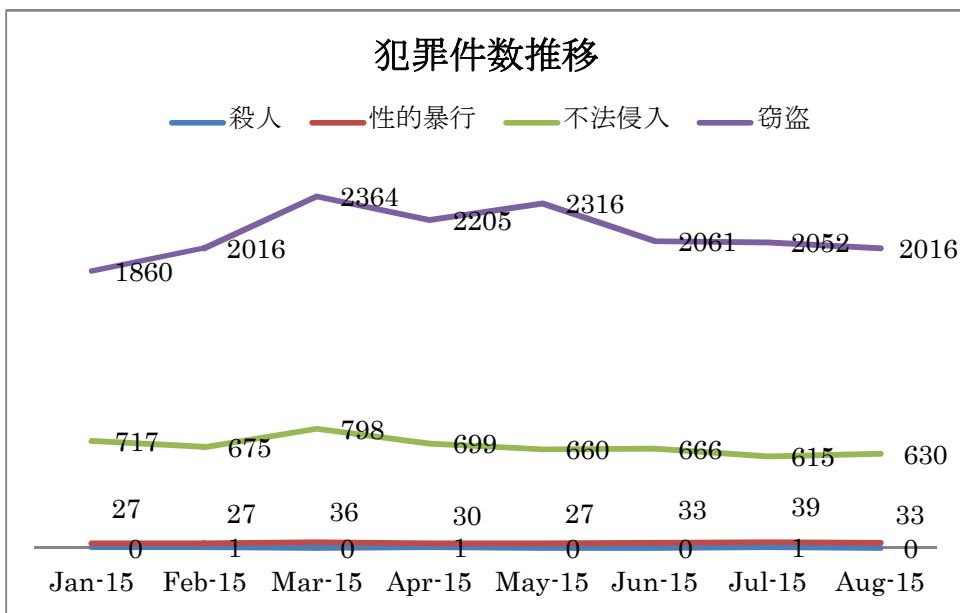
海外安全対策情報
2015年7月～9月

在オークランド総領事館

当館管轄地域に関する情報は下記の通りです。

1 治安情勢・一般犯罪の傾向

オークランド警察が発表した犯罪件数の推移は次の通りです。



	殺人	性的暴行	不法侵入	窃盗
Jan-15	0	27	717	1860
Feb-15	1	27	675	2016
Mar-15	0	36	798	2364
Apr-15	1	30	699	2205
May-15	0	27	660	2316
Jun-15	0	33	666	2061
Jul-15	1	39	615	2052
Aug-15	0	33	630	2016

2 テロ・爆弾事件発生状況

ニュージーランド国内には、テロ組織及び反政府武装勢力の存在は確認されておらず、国外のテロ組織と関連を有している勢力の存在も確認されていません。しかしながら、昨年11月、ジョン・キー首相はISILに関する講演の中で、「ニュージーランド国民は国際テロリズムの危機と脅威にさらされている」と発言しています。現在ニュージーランドのテロの脅威度は従来の「とても低い」から「低い」に見直されています。

3 主な犯罪事案（日本人が巻き込まれていない案件）

(1) 7月、マヌカウ警察は、オークランド市オタフフ（Otahuhu）地区でマリファナのプラント 150 株（市場価格 10 万ドル以上）を発見。持ち主の 52 歳男性が逮捕された。

(2) 7月、オークランド市オタラ（Otara）地区で 21 歳女性に対する性的暴行事件が発生。女性は午後 3 時半頃、Rongomai Reserve を歩行中、何者かによって襲われた。犯人はいまだ逃走中。

(3) 7月、オークランド市グレン・イーデン（Glen Eden）地区において、誘拐未遂事件が発生。被害者の 13 歳女性は、学校からの帰り道、男性ドライバーから車に乗るよう話しかけられ、女性が拒否したところ、男は女性の追跡を開始。最終的に女性が学校に逃げ込んだ後、男は逃走。未だ逮捕されていない。

(4) 7月、オークランド市グレン・イーデン（Glen Eden）地区において、窃盗・詐欺事件が発生した。オークランド市役所の係員を名乗る男が、「水圧のチェックをする」として老人の家に上がり込み、財布を盗んで逃走。その後犯人は警察と称して「財布を見つけた。銀行カードの不正使用がないか確認したいので暗証番号を教えてください」と老人に電話。怪しいと感じた老人はただちに電話を切ったが、まだ犯人は特定されていない。

(5) 9月、オークランド市マヌカウ地区で老人を騙してお金を盗む事件が発生した。犯人は老人の家の前で「お金がなくなればらく食事をしてない」などと演技をし、老人が家に招き入れると、財布や貴重品を懐に入れ逃走。警察は 35 歳の女を逮捕し、老人世代に対し「見知らぬ者を家にいれないよう」呼びかけている。

4 主な日本人被害事案

ケース 1

場所 オークランド市内 日本食レストラン

被害者 40代男性

勤務先の日本食レストラン事務所に泥棒が侵入。パスポート、クレジットカードなどを入れたバッグが盗難被害に。

ケース 2

場所 オークランド市内 路上

被害者 20代男性

引越のためトラックから荷物を新居に運び入っていた際、カバンを盗まれる。カバンはトラックの助手席に置いたままであり、財布や iPhone などが被害にあった。

ケース 3

場所 ロトルア市内 レストラン

被害者 20代男性

マオリダンスを観ながら食事をしていた際、カバンを席に置いたままトイレに。席に戻ったらカバンが盗まれていた。現金5万円、パスポートなどが被害にあった。

以上